



土浦一高定時制とは (その歴史について)

校訓
自協
責任

土浦一高は明治30年に茨城県尋常中学校土浦分校として創立されました。そして昭和23年に夜間制高等学校が設置されます。以来、月日を重ね、令和3年3月に第70回卒業生を送り出した**歴史と伝統**に育まれた学校です。



貴重な文化財として今も校内に形を残す
旧土浦中学校校舎本館

令和3年度入学式(4月7日)



定時制高校の魅力は、異なる年齢の生徒や帰国子女など様々な生徒たちが集う環境のなかで、色々な人たちの考え方に触れることができることです。成人特例入学者選抜、帰国子女の特例入学者選抜、外国人生徒の特例入学者選抜の入試機会が用意されています。

定時制の修業期間は4年ですが、本校では「3修制」という制度があり、3年で卒業することも可能です。授業は夕方5時15分から始まります。

昼間に働いている生徒も多く、生徒たちは**仕事と学業を両立**させるために頑張っています。1限と2限の間には**栄養満点の美味しい給食**があります！



4月8日には新入生給食指導が行われ、初めての一高給食としてみんなで美味しいカレーライスを食べました。

中澤斉校長 入学式の式辞より

二十五名の新入生の皆さんへ

① 目標を持つよう

自分のいいところを見つけて、目標を定め、毎日の小さな努力を積み重ねましょう。

② 笑顔で挨拶しよう

人の役に立つ人になるために、元気な挨拶でより良い人間関係を築きましょう。

③ 全員で卒業しよう

みんなで励まし合い、支え合って頑張れば、苦しさを喜びに変えることができます。

新任者からのごあいさつ

4月に着任しました。よろしくお願いいたします。

奈良 由紀子（教頭）

この度、竹園高等学校から赴任いたしました。教員生活をスタートさせた土浦一高に14年ぶりに戻ってまいりました。思い出がたくさんある学び舎で、今度は定時制のみなさんと一緒に学校生活を送れることを嬉しく思います。定時制職員室はとても生徒想いで熱意のある先生ばかりです。1日も早く全校生103名の名前と顔を覚えて、たくさん言葉を交わしていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小林 靖敏（生徒指導部長・国語科）

この度、水海道第二高等学校から赴任しました小林靖敏です。定時制の職員室で何度か会議をして感じたことは、先生方はみなさんが思っている以上に、生徒一人ひとりのことを大切に考えているということです。昨年度はコロナの影響でできなかったことが多かったのですが、今年は1つでも多くいい思い出を残してあげたいと考えているようです。また、私生活面や進路についても、まるで我が子を心配する親の姿を見ているような気がしました。私も定時制職員の一員として努力しますので、よろしくお願いいたします。

大森 愛璃（養護）

つくばみらい市立伊奈東中学校からまいりました、大森愛璃と申します。養護を担当します。私自身、教師になり3年目で、高校勤務が初めてになります。学校生活などで分からないことが多くあると思いますが、皆さんからも学びながら、心身の健康のサポートをしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



4月22日は創立記念日です

4月22日は土浦一高の創立記念日です。せっかくの機会なので、本校の沿革について思いをめぐらせてみてください。今年で124年です。



●定時制の卒業生から世界文学全集100冊が寄贈されました。



土浦市在住の鈴木光子様より世界の文学全集100冊が「定時制文庫」に寄贈されました。昨年の定時制だよりに掲載された「定時制文庫」の記事をご覧になり、後輩の生徒の皆さんに本を読んでいただきたいというご厚意から届けられ100冊の名著シリーズです。本との出会いは人生を豊かなものにしてくれます。生徒の皆さんが読書の楽しみを知り、本との素敵な出会いに恵まれることを期待します。